

# 能登教区通信

このたび、標記通信2018年11月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

## 教区教化事業のご案内

### ◆教区報恩講◆総合教化本部

能登教区(済美精舎)報恩講を、11月12日(月)から13日(火)にかけて教務所(済美精舎)にて厳修いたします。本年も、ご出仕並びに有縁の方々へのご参拝をご奨励ください。

#### ① 教区(済美精舎)の報恩講の出仕について

出仕を希望される方は、**11月2日(金)必着**で先月の教区通信に同封のハガキ(出仕願)にてお申込みください。期限後の申込及び集会に遅れた場合は後座出仕となりますのでご注意ください。なお、組代表として出仕される場合は、組長を通じてお申し込みください。

#### ② 教区(済美精舎)報恩講に伴う大掃除について

報恩講に向けて、**11月8日(木)午前9時**から済美精舎大掃除を行いますので、できるだけ多くの組からの参加をいただきたく、ご門徒の方々もお誘いいただきご参加ください。

つきましては、教務所で昼食をご用意いたしますので、**11月5日(月)**までに参加いただける人数を寺院ごとにとりまとめ教務所までお知らせください。

#### ③ 教区(済美精舎)報恩講お斎用食材の寄付勧募について

報恩講でのお斎用食材(お米及び野菜)の寄付をお願いしています。特に葉物野菜(白菜等)、根菜類(さといも、大根、人参など)をいただけるとありがたいです。たくさんの方に“安全”に“おいしく”食べていただくために食材はできるだけ新しいものをお願いします。

また、食材をお持ちいただいた方のお名前を披露させていただきますので、所属寺とお名前をお知らせください。何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

### 教区報恩講催事 “子どものつどい” 作品展示 青少幼年部門

今年も“子どものつどい”で制作された作品や写真の展示をします。

懐かしの作品も展示予定です。ぜひご覧ください。

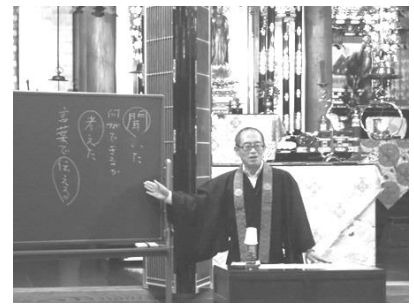
### ◆「是栴陀羅」の課題に関する教区学習会◆ 総合教化本部・教区同朋社会推進協議会

- ・日時 2018年12月6日(木) 午後1時30分から5時まで
- ・講師 解放運動推進本部本部委員
- ・その他 詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。

## 教化事業・その他行事のご報告

### ◆真宗に学ぶつどい(第1回)◆ 同朋会推進部門

9月26日(水)、相馬豊氏(金沢教区道因寺住職、修練道場長)を講師に、「真宗に学ぶつどい」を行いました。今回は初めて、会場をこれまでの教務所から奥能登地区(穴水組法性寺)に移し、穴水組の住職、坊守や門徒の皆さんの協力を得て開催されました。当日は、午後7時～午後8時30分と遅い時間にもかかわらず、穴水町近隣から67名の参加がありました。



第一印象は「ああ、参加してよかったな」と思いました。講師は、単に講演や講義をされたのではなく、私の今の「生きかた」について「本当にそれで良いのですか？」と問いかけてくださいました。よくよく考えてみるに、この時節誰が私の生き方をそれで良いのかと問うてくれるのでしょうか。「俺の事は構ってくれるな」「俺には俺の生き方がある」等と自惚れている私です。「本当にそれで良いのですか？」今更ながら私自身に問い返してみる機会に恵まれました。真宗本廟の御影堂に座して宗祖親鸞聖人から「あなたの生き方は本当にそれで良いのですか？」と問い掛けられる如く、法性寺様の御本尊の前で、講師の問い掛けに今一度我が身を振り返ることができました。

〈第6組信念寺 藤井敏夫〉

### ◆秋安居◆ 研修部門

9月19日(水)～20日(木)の両日にわたって、「秋安居」が開催された。

講師は、本講講者の木村宣彰氏(大谷大学名誉教授、鈴木大拙館館長)で、講題は『安楽集』講要。本山で二週間にわたって行われた内容をたったの二日間で行うという秋安居は、講者も受講者も極めて中身の濃い二日間となる。

講義は、『安楽集』の選者で中国浄土三祖師の一人「道綽」の出生を中国の歴史的背景の中で描き出し、いかにして道綽は浄土教へ廻心したか、といった流れの中で行われ、自らの信念よって諸経論の引証を行いながら『安楽集』を選集する道綽禅師の人となりを中心に講述された。

受講者は23人と残念ながらいつもよりは少ないようだったが、時々本筋からずれるお話も好評で受講者は一様に元気を戴いた講義だった。

〈研修部門部長 大橋友啓〉

### ◆内局巡回◆

去る9月27日(木)に内局巡回が行われました。教区からは教区会議長・副議長、教区門徒会長・副会長、宗・参議会議員、組長、参事会員、常任委員、総合教化本部委員、合わせて40名が出席しました。本山からは木全和博参務、徳永誠慶讃法要準備本部事務室長、小代亨組織部次長が出向し、慶讃法要計画案作成に向け現時点での法要計画概要について説明されました。

説明の後、質疑と意見交換が行われました。畠河度教区会議長から、各組所長巡回での慶讃法要に関する聞き取りで出された教区内の声を踏まえ、現行の割当基準を用いる募財方法の在り方について代表質問がされました。「教区が長年要望している経常費御依頼門徒1指数あたりの金額の平準化を目指す第一歩として、まずは慶讃法要で平準化してほしい。能登は次世代への法縁をつなぐこともままならない状況にある。相続講の精神を伝えていく意味でも、一律化の願いを重く受け止めてほしい。」と、募財方法の見直しを要望しました。その他、出席者からは予算規模の抑制や事業内容の精査、広報発信の方途など様々な意見や質問が出されました。

なお、内局巡回は全国30教区で実施され、広く各地の意見聴取を行い、慶讃法要総計画案を策定し来年の宗会で上程されます。

## ◆教区同朋社会推進要員研修会◆教区同朋社会推進協議会

9月21日(金)、二俣和聖氏(第11組聖安寺前住職)を講師に、「教区同朋社会推進要員研修会」が開催されました。「同朋社会の顕現に沿う儀式の可能性」という講題で、氏がずっと課題にされてきたことを講義されました。

当協議会では、昨年6月からの委員の任期3年間を通して、初年度は「部落差別問題」、2年目は「宗門の封建的体質の問題」、そして3年目は「ハンセン病問題」をテーマとして、同朋社会推進の精神を学ぶことになっています。今年度は、「宗門の封建的体質の問題」を「儀式」の問題を通して学びます。「要員研修会」は、来春の「部落差別問題研修会」へ向けてのスタッフ研修で、要員研修会で見出した課題について自主学習会を重ねた上で、教区内僧侶・門徒を対象とした「教区部落差別問題研修会」を実施します。

氏は、講義のはじめに確認として、浄土真宗の儀式とは何かということで、二つの柱を挙げられました。一つは、その儀式が聞法、なんまんだぶつの教えを私が聞くご縁をいただくということになっているのかどうかということ。もう一つは、お互いに同じなんまんだぶつを聴聞し、なんまんだぶつの道を求めて歩む仲間であるということを確認する儀式になっているのかどうかということです。

さらに、「もし儀式が聞法になっていなければ考えなければならない。もし、その儀式が互いに本願念仏の教えを一緒に求めていこう、一緒に歩いていこうということに沿わない儀式、身分的な差別、僧侶と門徒の差別、僧侶の間の差別、生まれによる差別、そういうことを強調するようなかたちでおこなわれる儀式であれば、それが真宗の儀式なのかと立ち止まって考えていかなければならない。」「何のために儀式をしているのか。聞法のためなのか。お布施のためになっていないか。お互いに共に歩いていくまいかということよりも、僧侶であることをありがたくさせるというような方向に力が入っているかもしれない。」と続けられ、基本的な視点を示された上で講義されました。何のための儀式なのか。何のためにお寺をお預かりしているのか。何のために僧侶をしているのか、私の現実が深く問われる課題です。

講義の後、二班に分かれて座談会がおこなわれ活発な話し合いとなりました。参加した委員は感想レポートを提出し、さらに自主学習会を重ねて課題を明確にしていく予定です。さらに「教区部落差別問題研修会」では、広く呼びかけて多くの人と課題を共有し語り合う場を開きたいと考えています。

〈同朋社会推進協議会副会長 畠山浄〉

## 本山・教区事務についてのご連絡

### ◇人事異動について◇

10月24日付で宮堂史宣(能登教務所主計)が三条教務所に異動し、後任に印牧浄(かねまき きよし・久留米教務所主計)が着任しました。離任並びに着任の御挨拶は12月号に掲載します。

また、10月1日付での室木つる子(能登教務所教区雇員)の着任と今回の人事異動に伴い、教務所事務分担を一部変更いたしましたので、同封の事務分担表をご覧ください。

### ◇平成30(2018)年7月豪雨災害及び北海道胆振東部地震災害救援金について◇

能登教区では、7月上旬発生の「平成30(2018)年7月豪雨」及び9月6日発生の「北海道胆振東部地震」への対応として、教区内へ救援金のご協力をお願いして参りました。

このたび、「平成30(2018)年7月豪雨」については9月30日までの受付期間で、下記のとおり救援金をお寄せいただき、全額を「能登教区救援金」として宗派救援金口座へ送金いたしました。皆さま方の多大なご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

平成30(2018)年7月豪雨災害救援金現況(能登教区から宗派救援金口座へ送金した救援金)

**1, 930, 621円** (9月30日現在)

なお、教区として7月豪雨災害救援金は9月末日、北海道地震災害救援金は10月末日をもってとりまとめ本山へ届けさせていただきますが、期日以降も下記口座にお振込みいただきましたら、教区から本山へ届けさせていただきます。引き続き勧募にご協力賜りますようお願いいたします。

**救援金受付口座**

&lt;郵便振替口座&gt;00710-5-3866

&lt;加入者名&gt;真宗大谷派能登教務所

※通信欄に必ず「平成30(2018)年7月豪雨」または「北海道胆振東部地震」災害救援金と明記してください。

## ◇本山経常費完納寺院◇(2018.9.1~9.30迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

|       |     |     |     |      |     |     |     |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 第1組   | 正明寺 |     |     | 第7組  | 佛照寺 | 照福寺 | 照念寺 |
| 第2組   | 専修寺 |     |     | 第8組  | 林敬寺 | 慶願寺 | 通敬寺 |
| 第3浜方組 | 光念寺 | 本立寺 | 宗源寺 |      | 寶樹寺 | 佛性寺 |     |
|       | 明正寺 |     |     | 鶴川組  | 寶藏寺 | 蓮光寺 | 長龍寺 |
| 第3山方組 | 西性寺 | 願行寺 |     |      | 徳善寺 |     |     |
| 第4組   | 満念寺 | 永誓寺 | 康順寺 | 穴水組  | 真淨寺 | 明樂寺 | 本教寺 |
|       | 因宗寺 | 浄法寺 | 本光寺 | 第10組 | 慶西寺 | 徳勝寺 | 光行寺 |
|       | 本隆寺 | 福専寺 |     | 第11組 | 長正寺 |     |     |
| 第5組   | 正光寺 |     |     | 第12組 | 珀琳寺 | 徳蓮寺 | 佛乘寺 |
| 第6組   | 満覺寺 | 長順寺 | 西慶寺 |      | 光源寺 |     |     |
|       | 眞善寺 | 吟龍寺 | 正養寺 | 第13組 | 西休寺 | 皆善寺 |     |
|       | 浄蓮寺 | 善行寺 | 碧雲寺 | 第14組 | 長専寺 | 信行寺 | 得源寺 |
|       | 浄方寺 | 覺成寺 |     |      |     |     |     |

## ◇住職就任◇(教区通信10月号掲載以降)

第14組 蓮淨寺 江尻 晃邦 2018年9月28日

## ◇代務者就任◇(教区通信10月号掲載以降)

第5組 琳照寺 木越 祐馨 (第5組 光琳寺住職) 2018年8月24日  
 第5組 名願寺 徳本 憲壽 (第6組 眞善寺住職) 2018年9月18日  
 第6組 願隆寺 森金 曉 (第6組 願隆寺衆徒) 2018年9月18日

## ◇敬弔◇(教区通信10月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第5組 誓順寺 坊守 藤田 榮子 2018年10月13日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ  
 能登教区教化スローガン  
 能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう  
 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を  
<http://ohigashi-noto.jp/>